

第六次総合計画 施策評価シート(令和2年度)

1-⑧

施策

学校、コミュニティ、家庭が連携し、子どもの健全育成を推進する

担当部局

教育委員会

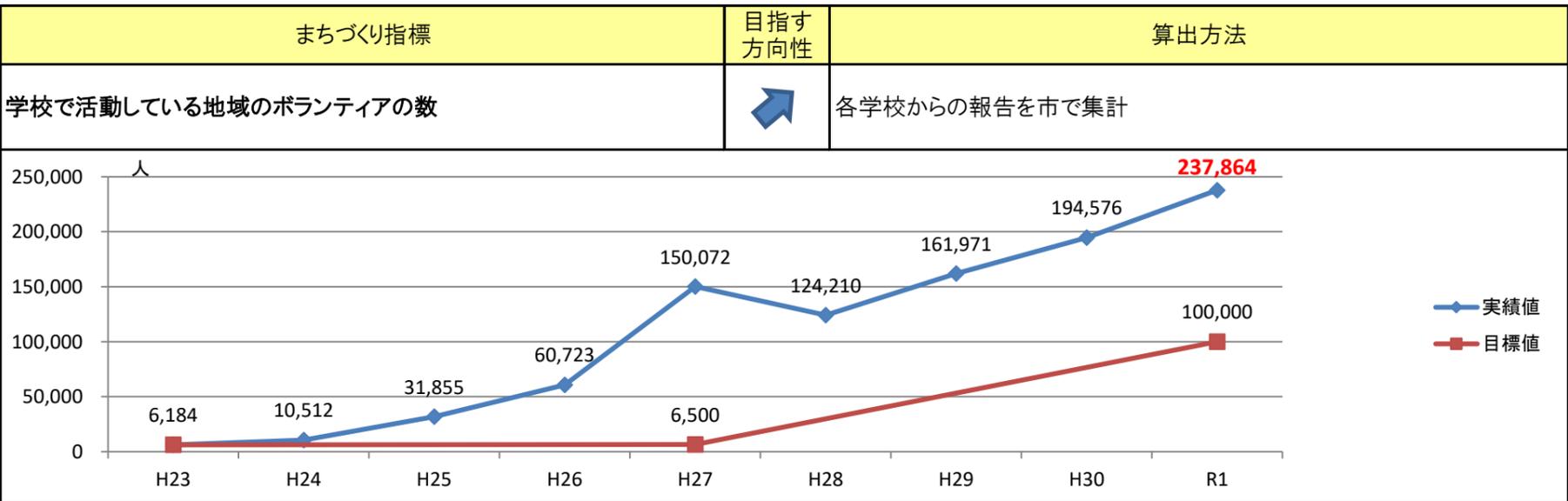
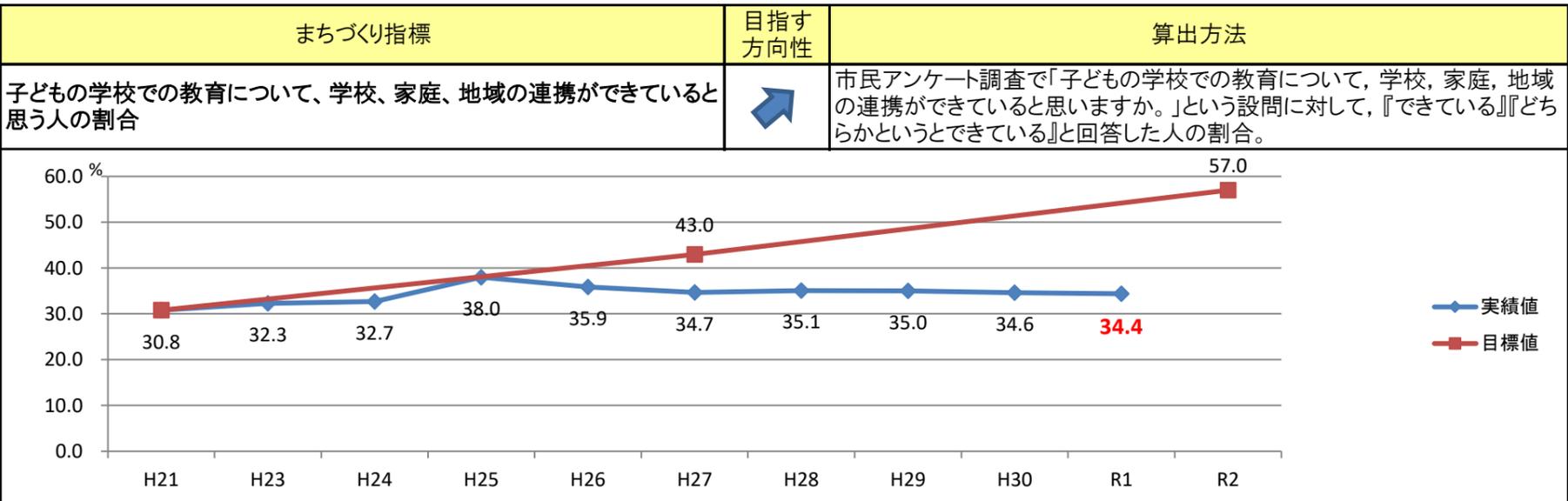


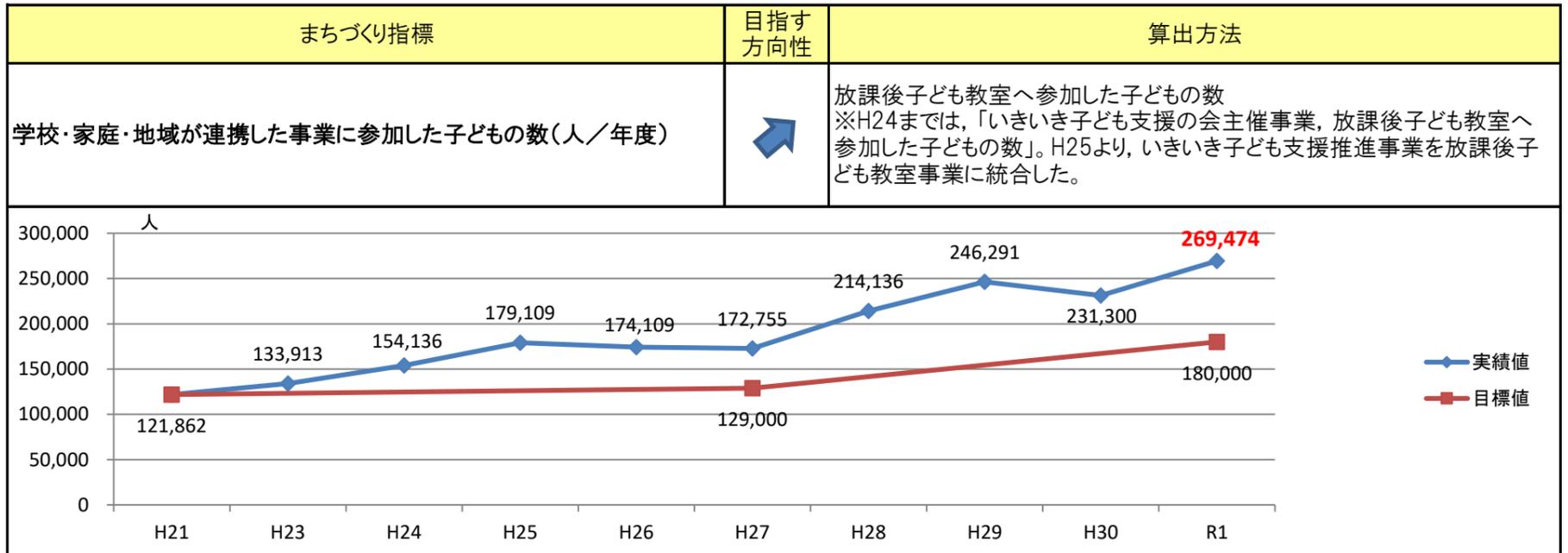
【はぐくみ】 めざすまちの姿 学校、コミュニティ、家庭が連携して、子どもが学び、成長できる環境となっている

市の基本方針

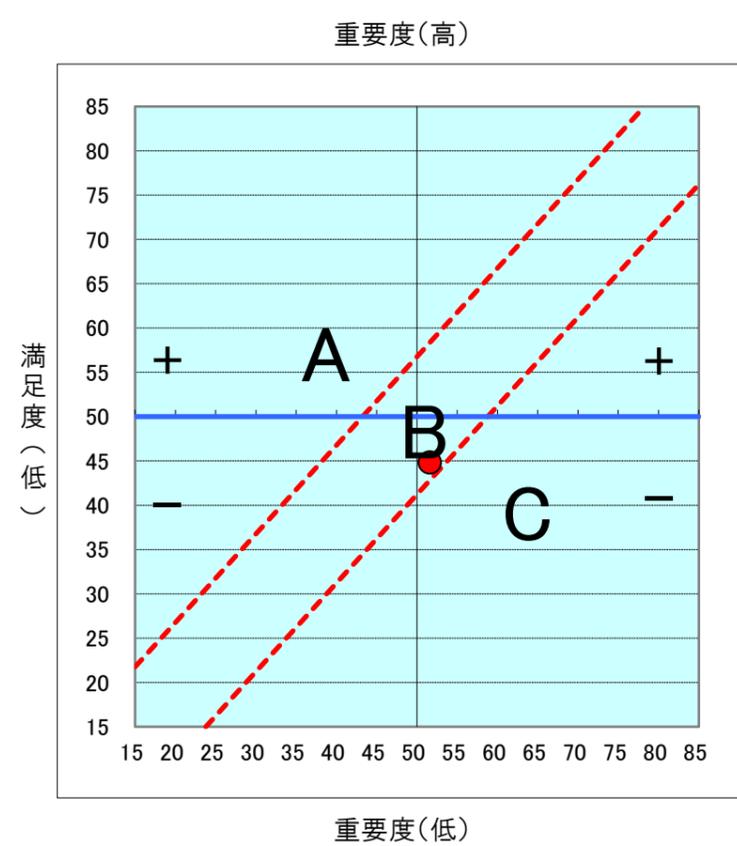
- 地域ぐるみで子どもを育てる体制づくりを進めるため、地域ボランティアやボランティア活動の総合的な調整役を担うコーディネーターの養成に努めるとともに、効果的な学校支援活動を実施し、地域と学校の一体感を醸成します。
- 学校や地域の活動の中で、子どもたちが地域の歴史・文化を学んだりスポーツを楽しんだりする機会を推進し、地域に対する理解と地域住民との交流を深めることで、子どもたちの地域の一員としての自覚と誇りをはぐくむとともに健やかな成長を支えます。
- 放課後や週末等に小学校の余裕教室などを活用し、地域住民と子どもたちが一緒になって行う、学習やスポーツ、文化活動、地域住民との交流活動などを支援します。
- 家庭、学校、地域、関係機関や団体等と密接に連携し、青少年の健全育成施策を推進します。

数値目標





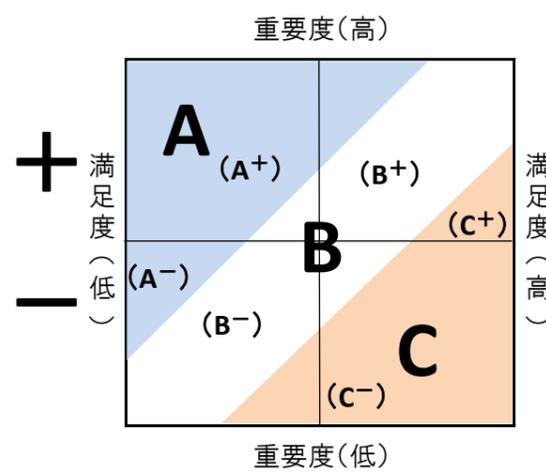
市民の重要度・満足度(R2.5アンケート調査結果)



領域	偏差値	
	重要度	満足度
B ⁻	44.81	51.61

●重要度に見合った満足度が得られている(B)
●重要度が平均値より低い(-)

【グラフの見方】



- A: 重要度に見合った満足度が得られていない領域
 - B: 重要度に見合った満足度が得られている領域
 - C: 重要度に見合う以上の満足度が得られている領域
- ※ 以上の3つの領域を、さらに2つに分割(3×2領域)
 +: 重要度が平均値より高い部分
 -: 重要度が平均値より低い部分
- A⁺, A⁻, B⁺, B⁻, C⁺, C⁻
- A⁺: 重要度が高く、その重要度に見合った満足度が得られていない領域

施策を推進する主な事業の評価

区分	事業名	目的(Ⅰ)／令和元年度の主な実績(Ⅱ)／今後の方向性(Ⅲ)	R1年度 決算額 (千円)
重 創	地域連携による学校支援事業(再掲)	(Ⅰ) 地域全体で学校教育を支援する体制を整え、生涯学習の成果を活かした地域住民による学校支援活動を推進することにより、子どもたちの豊かな人間性を涵養するとともに、地域の教育力の活性化を図ることを目的に実施した。 (Ⅱ) 小学校区45カ所、中学校区19カ所、支援学校区1カ所で事業を実施した。ボランティア登録人数は6,681人、延べ237,864人のボランティアが学習支援や環境整備、地域活動などの学校支援活動に参加した。 (Ⅲ) 実施校拡大を図りながら継続して実施する。	36,284
	「生きる力」支援事業	(Ⅰ) 不登校及びその傾向にある子どもたちの「生きる力」の育成に努め、自立を支援するとともに、保護者の心理的負担を軽減することを目的に実施した。 (Ⅱ) 自宅に引きこもることなく、地域社会との接点として開設した「居場所」には、延べ413人が参加した。また、保護者の心理的負担を軽減するため「保護者の集い」を年8回開催し、延べ34人の参加があった。 (Ⅲ) 継続して実施しながら、事業の更なる活性化を図っていく。	1,057
	子ども会支援事業	(Ⅰ) 次世代を担う子どもたちを心豊かにたくましく成長させるために活動している「倉敷市子ども会連合会」を積極的に支援することを目的に実施した。 (Ⅱ) 健全な子どもの育成を目的とした子ども会の運営のため、補助金の支給などを行うことにより、集団指導者養成講習会や球技大会などの活動を支援した。令和元年度は毎年全国子ども会連合会が行う全国大会が20年ぶりに本市で開催されたため、例年より多くの子ども会会員が講演会などに参加できた。 (Ⅲ) 継続して実施する。	2,451
創	放課後子ども教室推進事業(再掲)	(Ⅰ) 子供たちの安全・安心な活動拠点(居場所)を設け、地域の方々の参画を得て、勉強やスポーツ・文化活動等を行うことを目的に実施した。 (Ⅱ) 63小学校区で実施。実施日数は、合計3,098日、子ども延べ269,474人とボランティア延べ23,468人が参加した。 (Ⅲ) プログラム内容の見直しを行いながら、継続して実施する。	6,903
	青少年健全育成推進大会実施事業(再掲)	(Ⅰ) 倉敷市における、青少年の健全育成に対する市民意識の高揚を図ることを目的に実施した。 (Ⅱ) 第42回倉敷市青少年健全育成推進大会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催中止とした。 (Ⅲ) 青少年健全育成活動従事者や市民のニーズを取り入れながら、継続して実施する。	277
	青少年育成センター非行防止活動事業	(Ⅰ) 関係機関及び諸団体と連携して、青少年の非行防止活動や街頭補導、電話相談等を行い、青少年の健全育成を図ることを目的とする。 (Ⅱ) 街頭補導件数は1,866件、電話・メール・来所による相談は874件の実績があった。 (Ⅲ) 継続して実施する。	56,302